

報道関係者各位

松陽産業株式会社

パンチングメタルで製作した龍馬パネル像を高知県立坂本龍馬記念館に寄贈

<概要>

パンチングメタル最大手の松陽産業(本社:大阪市、代表取締役:竹内和彦)は、高知県立坂本龍馬記念館(高知市)の開館30周年にあたり、同記念館所蔵の坂本龍馬肖像写真(立位)画像を題材に用いたパンチングメタルパネル(縦1,030mm×横727mm)を製作し寄贈いたしました。加工には弊社のフリー・アート・パーフォレーション技術を採用し、厚さ1mmのアルミ板に1~3mmの間で7段階の異なる直径を持つ丸孔を69,254個あけ、坂本龍馬肖像写真(立位)画像を忠実に再現しています。

同パネルは同記念館で一般公開されており、館内の見学ルートに従い新館と本館とをつなぐ渡り廊下付近にてご覧いただくことができます。

<詳細>

パンチングメタル最大手の松陽産業株式会社は、高知県立坂本龍馬記念館(<https://ryomakinenkan.jp/>)が開館30周年を迎えられた記念として、同記念館が所蔵する坂本龍馬肖像写真(立位)画像を題材とし、孔によって自由に画像を表現するフリー・アート・パーフォレーション(Free Art Perforation®)技術で描画したパンチングメタルパネルを製作し寄贈いたしました。

具体的には、直径が1.0~3.0mmの間で7段階の異なるサイズの合計69,254個の丸孔を組み合わせ、60°千鳥という一定のパターンにて配置したものを、厚さが1.0mmの1枚のアルミ板にあけたパネルです。この直径が異なる孔の透過部分を通して見えるバックサイドの黒い紙の色と、孔周りのアルミ素材が持つ金属特有の色調との面積比により発生する色差を応用し、原画像を表現しています。

弊社代表取締役の竹内和彦は、「パンチングメタルという孔あけ加工を施した金属材料ならではの特徴ある画像表現力のすばらしさを、同記念館を訪れる皆様にもぜひご覧になっていただきたい」と申しております。

<寄贈品のスペック概要>

- ・ 名称(仮称): パンチングメタル坂本龍馬パネル像
- ・ 使用材料: アルミ板(A1100)、厚さ 1.0 mm
- ・ 加工材のサイズ: 幅 727 mm×高さ 1,030 mm
- ・ 開孔範囲: 幅 717.5 mm×高さ 1,018.5 mm
- ・ 孔径: 直径 1.0、1.2、1.5、2.0、2.5、2.8、3.0 mm の 7 段階
- ・ ピッチ(孔中心間距離): 3.5 mm (※ 最も細い骨部は 0.5 mm)
- ・ 画像の孔数: 69,254 個
- ・ 塗装: アクリル焼付塗装、クリア 3 分つや仕上げ

<関係写真>

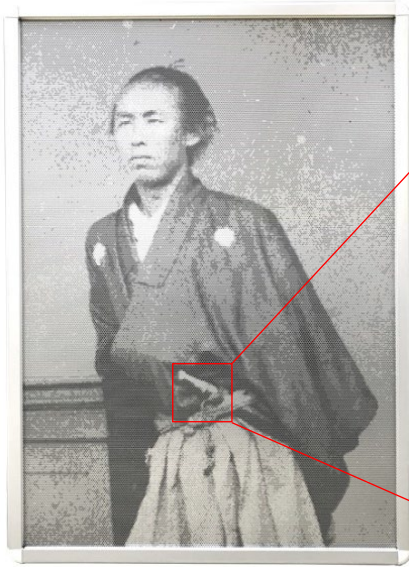


写真1. 全体像(枠付き)

※ 坂本龍馬肖像写真(立位)画像

利用許可:高知県立坂本龍馬記念館

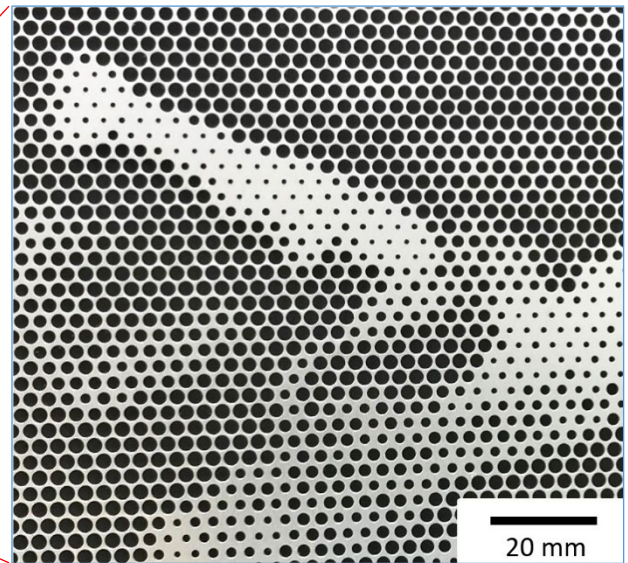


写真2. 部分拡大



写真3. 展示風景

(パネル部は一部はめ込み画像)



写真4. 高知県立坂本龍馬記念館全景

※ 画像提供:高知県立坂本龍馬記念館

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ先>

松陽産業株式会社 コーポレート統括室

お問い合わせフォーム(松陽産業コーポレートサイト): <https://www.shoyo-sangyo.co.jp/contact>

<参考情報>

高知県立坂本龍馬記念館 (<https://ryoma-kinenkan.jp/>)

坂本龍馬は幕末の土佐に生まれ、混迷を極めた時代に近代日本への道を開いた人物。その業績を顕彰するために平成3(1991)年に開館。その後、明治維新150年にあたる平成30(2018)年に博物館仕様の新館を増築しリニューアルオープン。令和3(2021)年11月に記念すべき開館30周年を迎えた。太平洋に面した浦戸城跡に立地し、敷地面積9,997.56㎡に本館と新館の2館が配されている。本館の屋上テラスからは“龍馬の見た空と海”が一望できる。

松陽産業株式会社 (<https://www.shoyo-sangyo.co.jp/>)

1967年設立。金属を主体とした素材にプレス金型で孔あけ加工するパンチングメタルメーカーでの日本最大手※で、第54期(2020年8月～2021年7月)の売上は3,858百万円。本社(大阪市中央区;関西営業所含む)、千葉事業所(千葉県船橋市;関東営業所含む)、岡山事業所(岡山県新見市;岡山工場含む)、群馬事業所(群馬県太田市;群馬工場含む)の合計4拠点。パンチングメタルを用いた産業用の遮音・吸音パネル、交通機関用部材や部品、各種フィルターや意匠性の高い建築用のパネル・エンボス材などを製造販売。国内の国際空港や、大型ドーム、大型駅構造(天井部)、商業ビル壁面にもデザインや吸音特性を有する商品が採用されている。

※ 株式会社帝国データバンク調べ(2021/07/21時点)「パンチング加工を行っている企業の最新期売上高」

フリー・アート・パーフォレーション (Free Art Perforation®)

写真やさまざまな図柄をパンチングメタルの孔を使って自由に表現した商品群。主として丸孔を用い、その配置と孔の大きさに濃淡のグラデーションを表現する。メートルサイズのパネルを多数組み合わせ、一つのデザインを壁面などに表現する大型から、A3前後のサイズまでが対象範囲。屋外建築物の外装デザイン、エクステリア、手すりの目かくし板、照明用蓋、パーテーション、内装用装飾など幅広いアプリケーションがある。

(https://www.shoyo-sangyo.co.jp/products/free_art_perforation/free_art_perforation)

パンチングメタル

パンチングメタルとは、金属を主体とした素材をプレス金型で孔あけ加工したもので、鉄やステンレス、アルミなど幅広い素材に開孔することが可能。金属の持つ特徴はそのまま、軽量化、遮音・吸音、遮光・採光、通気・通風、装飾・デザイン、濾過・拡散、熱伝導・放射などの効果が得られる。

(誰でもわかるパンチングメタル⇒ https://www.shoyo-sangyo.co.jp/guide_punching_metal)

以上